

Book 1 Let's Start ① 学校での会話を聞こう pp. 4-5 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|--|
| 1 | 4-5 | <p>● 小学校で聞いたり話したりしてきた英語を聞いて、必要な情報やおおまかな内容を捉えることができる。</p> <p>①番号順に音声聞き、イラストの中から内容に関係する部分を見つけ、指さす。</p> <p>②1～5の順に何について話していたか、日本語でまたは生徒の実態に応じて英語で答える。</p> <p>③その際、1つのイラストごとに、生徒が発言した言葉を英語で言い、発音の確認にもつなげる。</p> | <p>・令和6年度小学校卒業の生徒については、5年生時には令和2年度版の教科書を使っていたことも考慮するとよい。</p> |
| 後日 | | <p>リスニングテスト</p> <p>イラストを利用して、定期テストでQR CODEの音声(あるいは授業者の音読)を順不同で聞き、どの場面のイラストに内容が合っているかを記号などで答える。</p> | |

Book 1 Let's Start ② コミュニケーションを楽しもう pp. 6-7 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|--|
| 1 | 6-7 | <p>● 小学校で聞いたり話してきた英語を使って相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</p> <p>1 ① ①QR CODEの音声を聞いて、好きな食べ物や野菜すべてに✓をする。</p> <p>② ②上の段に描かれたイラストそれぞれの発音を確認し、声に出して読む。</p> <p>③ペアになり、例にならって好きな食べものを尋ね合う。</p> <p>③ ④声に出して読む練習をしてから、他の好きなものについても尋ね合う。</p> <p>⑤下段に示された5語だけでなく、pp. 139-141 Word Box 5, 6, 7, 8, 9, 10も参考にする。</p> <p>2 ① ①会話を聞いて、演奏できる楽器すべてに✓をする。</p> <p>②イラストにある5つの楽器については音声を聞く前に発音の確認をする。</p> <p>③カタカナ読みにならないよう注意する。</p> <p>② ④ペアになり、できること、得意なことを尋ね合う。</p> <p>⑤例文の読み方を聞いて、文末の上がり下がりもしっかり練習する。</p> <p>⑥質問と答えのやりとりが自然にできるようにする。</p> <p>③ ⑦ほかにできること、得意なことについて、下から選び尋ね合う。</p> <p>⑧下に提示されている語句や、p. 144 Word Box 17を参考にして、ペアやグループなどで尋ね合う。</p> <p>3 ① ①会話を聞いて、2人が飼っているペットの種類と数に✓をする。</p> <p>②男の子の答えと女の子の答えをそれぞれペンの色を変えたり、印の位置を変えたりする等の工夫をして、イヌやネコをそれぞれ何匹飼っているかを聞き取り✓をする。</p> <p>② ③ペアになり、例にならってペットの数を尋ね合う。</p> <p>④p. 141 Word Box 10を参考にして、いろいろな動物をペットとして、仮想のやりとりをするのも楽しい会話になる。</p> <p>⑤ペットはいない、という答えはI have no pets.で伝えられることも紹介すると良い。</p> <p>4 ① ①会話を聞いて、2人の誕生日に✓をする。</p> <p>② ②ペアになり、例にならって誕生日を尋ね合う。</p> <p>③pp. 138-139 Word Box 1, 2, 3, 4を参考にする。</p> | <p>・生徒の実態に応じて、教科書に提示された語のみにこだわらず、表現したい物があれば、いろいろな語を紹介し、会話の内容をより豊かなものにする。</p> <p>・表現したいことについて、英語での言い方を積極的に質問する。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>質問の例文や、答え方などを中間テストや期末テストでも思い出せるように復習しながら音声をしっかりつかませ、応答の仕方が理解できるようにする。</p> <p>例：A,Bの会話を使って、Aの質問に対して、内容が合う答えを選択肢から選ぶ。あるいは、Bの答えを提示し、それを引き出す質問文を選択肢から選ぶ等。</p> | |

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------|--|---|
| 1 | 8-10 | <p>● 英語の文字の名前と音や発音とつづりについて聞き取ったり、発音したりすることができる。</p> <p>pp. 8-9</p> <p>1 ①A~Zの文字の名前を聞きながら、文字を指差す。次に後について言う。</p> <p>2 ②A~Zの文字の歌を聞く。次に一緒に歌う。</p> <p>3 ③A~Zの文字の表す音を聞く。次に後について言う。</p> <p>4 ④英語の音声を聞いて、後について言う。文字の音(アブクド)でA~Zまで発音したあとに、文字の名前で a, c, e, g, i, o, u が発音されているので注意。</p> <p>5 ⑤文字の形に気を付けて音声を聞いて、文字を指で指す。(1)~(5)は文字の高さや、書く位置別にまとめられている。4線のどの位置にあるのかを確認しながら音声を聞く。</p> <p>p. 10</p> <p>6 ⑥(1)~(5)は、3つの文字で構成されている単語の、1つひとつの文字の音(アブクド)と、単語の発音を聞き、後について言う。</p> <p>7 ⑦(1)~(3)のそれぞれの単語を聞いて、□の中に共通して入る文字を書く。</p> <p>8 ⑧(1)~(3)のそれぞれに2つずつある語のうち、読まれたほうに✓をする。</p> <p>9 ⑨同じ文字の音の違いに注意して聞き、発音してみる。</p> <p>10 ⑩ch, sh, ph, wh, ck, ng, th は、2つの文字で1つの音を表す。音声を聞いて発音してみる。⑦の th には2種類の音があることに注意。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・①A~Zの音を聞きながら、カタカナの音とは違うことに気づかせる。 ・③文字の表す音を聞く際、カタカナ読みとは大きく違うことを確認し、後について言うときも聞こえた音に近づけるように導く。 ・⑧3文字の単語の真ん中にある母音の発音を聞き取る練習。③で確認した文字の音のうち、母音(a, e, i, o, u)の音をもう一度確認する。 ・⑨母音(a, e, i, o, u)が、文字の名前で発音される時と、音で発音される時があることを確認する。 |
| 後日 | | <p>リスニングテスト例</p> <p>7 に示された様な形で、一文字抜けた語の空欄を、音声を聞いて埋める。</p> <p>8 の様に母音一字の違いで違う語になる単語を使って、読まれた単語の空欄一字を書く。</p> | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|---|--|
| 1 | とびら 11 Part 1 12-13 | <p>●Sho, Hina, Kiri それぞれのあいさつを聞き, 3人について興味を持つ。</p> <p>①3人のあいさつの内容を確認し, それぞれの特徴について予想してみる。</p> <p>●Sho, Hina, Kiri の会話から必要な情報を捉え, I'm ~./I'm not ~.の文について理解する。</p> <p>①Sceneの本文を聞き, 必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 1 を使って, I'm ~./I'm not ~.の文を構造的に理解する。</p> | <p>・最初の扉の新出語句の音と綴りについて無理のない自然な導入を心がける。</p> <p>・How about you?は汎用性の高い表現なので会話で使えるようにしたい。</p> |
| 2 | Part 1 12-13 | <p>●I'm ~./I'm not ~.の文を用いて, 即興で話したり正確に書いたりする。</p> <p>①Listenの活動を行い, 答えを全体で確認する。</p> <p>②Speakの活動をペアで行う。相手を替え, できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Writeの活動を行い, ②Speakで伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のためのQ&Aを行う。</p> | <p>・Warm-up で Enjoy Chattingを行い, そこでWord Box 24・25の状態や感想を表す表現を扱うこともできる。</p> |
| 3 | Part 2 14-15 | <p>●Kiriの自己紹介について必要な情報を捉え, 一般動詞の肯定文や否定文について理解する。</p> <p>①Sceneの本文を聞き, 必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 2 を使って, 一般動詞の肯定文や否定文の構造を理解する。</p> | <p>・つながる音に注意。 I have a ... / Nice to meet you.</p> |
| 4 | Part 2 14-15 | <p>●一般動詞の肯定文や否定文を用いて, 話したり伝え合ったりする。</p> <p>①Listenの活動を行い, 答えを全体で確認する。</p> <p>②Speakの活動をペアで行う。相手を替え, できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Writeの活動を行い, ②Speakで伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のためのQ&Aを行う。</p> | <p>・Speakの活動の際, 食事/食べ物(Word Box 6)の他, 教科やスポーツについて伝え合うこともできる。</p> |
| 5 | Part 3 16-17 | <p>●休み時間の Kiri, Sho, Hina の会話から必要な情報を捉え, 助動詞 can を含む肯定文, 否定文について理解する。</p> <p>①Sceneの本文を聞き, 必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 3 を使って, 助動詞 can を含む肯定文や否定文の構造を理解する。</p> | <p>・Oh, really? / Great!などの会話のつなぎ言葉を確認したい。</p> |
| 6 | Part 3 16-17 | <p>●助動詞 can を含む肯定文や否定文を用いて, 話したり伝え合ったりする。</p> <p>①Listenの活動を行い, 答えを全体で確認する。</p> <p>②Speakの活動をペアで行う。相手を替え, できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Writeの活動を行い, ②Speakで伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のためのQ&Aを行う。</p> | <p>・本文の名詞の複数形 (some anime songs) については, Unit 3 で詳しく扱う。</p> |
| 7 | T&S 18 | <p>●海外の姉妹校とのビデオ通話での交流会において, 自分で作成したメモを活用して自己紹介する。</p> <p>①場面設定を確認した上で, Step 1の活動を行い, 聞き取った内容を確認する。</p> <p>②Step 1の内容を参考に自己紹介で伝えたいことをメモし, そのメモを参考に即興で自己紹介を行う(Step 2)。</p> <p>③Step 2で話したことを, 英語で正確に書く。</p> | <p>・自らの自己紹介をタブレット端末を用いて録画させ, その後のWritingの活動に活用させる。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・有名人や歴史上の人物になりきって, 簡単な語句や文を用いての「なりきり自己紹介」を行う。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・本ユニットで扱った言語材料の理解を基に, 初見の文章を読み必要な情報を引き出す。</p> <p>・本ユニットで扱った言語材料の理解を基に, 好きなことや得意なことなどについて正確に書く。</p> | <p>・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき, そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p> |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|--|---|
| 1 | とびら 21 Part 1 22-23 | <p>●Hina たちの学校の生徒会長が新入生に行っている部活動の体験入部についての話を聞き、本ユニットの学習に興味を持つ。</p> <p>①生徒会長が行っている体験入部についての話の内容を確認し、3人がどの部活動の体験入部に行くか予想する。</p> <p>●Sho と勧誘する野球部員の会話から必要な情報を捉え、Are you ~?の文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 4 を使って、Are you ~?の文とその答え方を構造的に理解する。</p> | <p>・3人の好みや性格から人物像を考えさせていくことで、今後の学習の興味に繋げていきたい。</p> <p>・Yes / No で答える疑問文は文末を上げて言う。</p> |
| 2 | Part 1 22-23 | <p>●Are you ~?の文を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>①曜日は p.139 の Word Box 4 参照。</p> <p>②Tool Box の表現を提示し、活用させたい。</p> |
| 3 | Part 2 24-25 | <p>●ダンス部の体験会ポスターを見ての Kiri と Hina の会話から必要な情報を捉え、一般動詞の疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 5 を使って、一般動詞の疑問文とその答え方を構造的に理解する。</p> | <p>・You like dancing, right?の相手に確認する right は上げて言う。</p> |
| 4 | Part 2 24-25 | <p>●一般動詞の疑問文を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②相手からの質問に答える際には、1文以上付け加えて返答させるようにしていきたい。</p> |
| 5 | Part 3 26-27 | <p>●吹奏楽部の体験入部に来た Kiri と顧問の Seki 先生の会話から必要な情報を捉え、助動詞 can を含む疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 6 を使って、助動詞 can を含む疑問文とその答え方を構造的に理解する。</p> | <p>・any instruments について、名詞の複数形は Unit 3 で指導するため、「何か(の)楽器」の意味のみ示す。</p> |
| 6 | Part 3 26-27 | <p>●助動詞 can を含む疑問文を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | |
| 7 | T&S 28 | <p>●お互いのことをよく知るために、相手に質問をしたり、質問に答えたりする。</p> <p>①Kiri が転校生の Meg にインタビューする場面の Step 1 の活動を行い、聞き取った内容を確認する。</p> <p>②Step 1 の内容を参考に、お互いのことをよく知るために相手に尋ねたいことを表にまとめる (Step 2)。</p> <p>③Step 2 のメモを参考に、即興でペアやグループでインタビューをし、聞き取った内容を表にメモする (Step 3)。</p> | <p>・相手からの質問に答える際には、1文以上付け加えて返答させるようにしていきたい。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・ALT または教師と面接形式での Q&A を行う (1~2分程度)。Q は本ユニットで扱う言語材料を用いたもので、生徒は Yes/No で答えた後、1文以上の補足説明を付けるように努める。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・体調や好み、特技などについて尋ね合っている会話を聞き、必要な情報を聞き取る (Listening)。</p> | <p>・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p> |

Book 1 Focus on Form ① be 動詞／一般動詞／can pp. 30-31 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-------|---|--|
| 1 | 30-31 | <p>●主語が1・2人称の be 動詞・一般動詞・can を用いた肯定文, 否定文, 疑問文について理解し, 互いに自己紹介をして, その自己紹介に対して尋ねたり答えたりする。</p> <p>①Unit 1 と 2 で学習した主語が1・2人称での be 動詞・一般動詞・can を用いた肯定文, 否定文, 疑問文について, Meaning & Use, Form の点からその理解度を例文を用いて確認する。</p> <p>②「主語」「be 動詞」「一般動詞」「助動詞」等の文法用語を確認する。</p> <p>③Your Turn で, グループ内で互いに be 動詞・一般動詞・can を用いた文を用いて自己紹介をし, その自己紹介に対して尋ねたり答えたりする。</p> | <p>・ Compare で, 英語の語順を日本語と比較することで意識させるようにする。</p> <p>・ Your Turn のやり取りをタブレット端末で記録することで, 後で確認することができる。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・ 主語が1・2人称での be 動詞・一般動詞・can を用いた肯定文, 否定文, 疑問文を特定の場面で適切に使用する。</p> | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|---|--|
| 1 | とびら 33 Part 1 34-35 | <p>●転校生の Jin の自己紹介を聞き, Jin について興味を持つ。</p> <p>①転校生の Jin の自己紹介の内容を確認し, 彼がどんな人物か予想してみる。</p> <p>●Jin と Sho の会話から必要な情報を捉え, 名詞の複数形と How many を用いた疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き, 必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 7 を使って, How many で始まる疑問文とその答え方を構造的に理解する。</p> | <p>・名詞の複数形の発音とつづりを確認する。</p> <p>(p.41 Focus on Form)</p> <p>・疑問詞で始まる疑問文は文末を下げて言う。</p> |
| 2 | Part 1 34-35 | <p>●How many で始まる疑問文を用いて, 即興で尋ね合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い, 答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い, 身の回りのものをいくつか持っているか尋ね合う。相手を替え, できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い, ②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②いくつか持っているか尋ねられた時に, 持っていない場合の答え方を提示する。</p> |
| 3 | Part 2 36-37 | <p>●Jin が Sho や Hina に部活動について尋ねている会話から必要な情報を捉え, What + 名詞で始まる疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き, 必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 8 を使って, What + 名詞で始まる疑問文とその答え方を構造的に理解する。</p> | <p>・命令文や Let's ~. の文は小学校で指導しており, 理解のしやすさもあるため, 本文の中で扱っている。</p> |
| 4 | Part 2 36-37 | <p>●What + 名詞で始まる疑問文を用いて, 即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い, 答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い, 好きなものについて尋ね合う。相手を替え, できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い, ②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②答える際に1文以上付け加えられるものは, 付け加えて返答させるようにしていきたい。</p> |
| 5 | Part 3 38-39 | <p>●教室で浮かない顔をしている Jin に Hina が話しかけている会話から必要な情報を捉え, What で始まる疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き, 必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 9 を使って, What で始まる疑問文とその答え方を構造的に理解する。</p> | <p>・Warm-up として, Enjoy Chatting も導入したい。</p> |
| 6 | Part 3 38-39 | <p>●What で始まる疑問文を用いて, 即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い, 答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い, 通常の食事内容について尋ね合う。相手を替え, できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い, ②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②答える際に1文以上付け加えられるものは, 付け加えて返答させるようにしていきたい。</p> |
| 7 | T&S 40 | <p>●パーティーでデザートかサラダを作る係となった場面を想定し, そこで作りたいものと, そのために必要な果物や野菜について尋ね合う。</p> <p>①Kiri と Sho に買い出し係となった Jin が必要なものについて尋ねている会話を聞き, 必要な情報を捉える (Step 1)。</p> <p>②自分が作りたい料理と, そのために必要な果物や野菜を表にメモする (Step 2)。</p> <p>③ペアになり, Step 2 のメモをもとに作りたい料理と, 買いたいものについて尋ね合う。</p> | <p>・導入場面で, インターネット上の比較的わかりやすいレシピのサイトを提示することもできる。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・ALT または教師と面接形式での Q&A を行う (1~2分程度)。Q は本ユニットで扱う言語材料を用いたもので, 生徒は1文以上の補足説明を付けて答えるように努める。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・How many, What + 名詞, What など始まる疑問文を用いた, 身近な話題に関する会話を聞いて必要な情報を聞き取る (Listening)。</p> | <p>・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき, そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p> |

Book 1 Focus on Form ② 数えられる名詞と数えられない名詞 p. 41 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|-----|
| 1 | 41 | <p>●名詞には数えられるものと数えられないものがあり, さらに数えられる名詞には単数形と複数形があることを理解し, 場面や目的に応じてそれを適切に用い, 伝え合う。</p> <p>①名詞には数えられるものと数えられないものがあり, さらに数えられる名詞には単数形と複数形があることを確認する。子音で始まる名詞の単数形の前には a を置き, 母音で始まる名詞の単数形の前には an を置くことも確認する。</p> <p>②名詞は単数か複数かで形が変わり, 名詞が単数か複数かによって用いられる指示形容詞が変わることを, Meaning & Use, Form の点からその理解度を例文を用いて確認する。</p> <p>③Your Turn で, ペアで好きなものについて名詞を適切に用いて紹介し合う。</p> | |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・名詞の可算・不可算や単数形・複数形を特定の場面で適切に使用する。</p> | |

Book 1 Focus on Form ③ 疑問詞(1) how many / what p. 42 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|--|
| 1 | 42 | <p>●How many や What で始まる疑問文の構造を理解し, 場面や目的に応じてそれらを適切に用い, 伝え合う。</p> <p>①How many や What で始まる疑問文についての理解度を, Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②Your Turn で, ペアで相手と普段週末にすることについて尋ね合う。</p> | <p>・疑問詞で始まる疑問文は文末が下がり調子になることを確認する。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・How many や What で始まる疑問文を特定の場面で適切に用いる。</p> | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|---|---|
| 1 | とびら 43 Part 1 44-45 | <p>●カナダについての説明を聞き、カナダにいる Sho の兄の生活に興味を持つ。</p> <p>①Sho の兄が現在カナダに住んでいることを知った上で、カナダについて情報を得たり、互いに知っている情報を共有したりする。</p> <p>●英語の授業での Sho の兄の紹介から必要な情報を捉え、This is ~., He/She is ~.を用いた文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 10 を使って、This is ~., He/She is ~.を用いた文を構造的に理解する。</p> | <p>・主語が3人称単数の場合の can の使い方について説明を行い、生徒の使用を促す。</p> <p>・主語が3人称の時の be 動詞の表現について p.74 の Focus on Form⑤参照。</p> |
| 2 | Part 1 44-45 | <p>●This is ~., He/She is ~.を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに選んだ人物について紹介し合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>・be 動詞を用いた文で表現できる内容を確認するとよい (Word Box 17,22,23 参照)。</p> <p>・つながって聞こえなくなる音に注意。(I like (h)im very much.)</p> |
| 3 | Part 2 46-47 | <p>●兄の写真を見ながらの Sho と Kiri の会話から必要な情報を捉え、Is this ~?, Who is ~? について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 11 を使って、Is this ~?, Who is ~?について構造的に理解する。</p> | <p>・主語が3人称単数の際の Yes/No Question に答える時の主語について説明する。</p> |
| 4 | Part 2 46-47 | <p>●Is this ~?, Who is ~?を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに用意した人物について尋ね合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたこととその答えを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②タブレット端末を活用して写真やイラストを提示させる。</p> |
| 5 | Part 3 48-49 | <p>●兄が撮った写真を見ながらの Sho と Kiri の会話から必要な情報を捉え、What is ~?について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 12 を使って、What is ~?について構造的に理解する。</p> | <p>・新出の複数主語 they について確認する。</p> <p>・前に出た名詞の代わりに用いる one について説明する。</p> |
| 6 | Part 3 48-49 | <p>●What is ~? を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに用意した写真について尋ね合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたこととその答えを正確に書く。</p> <p>④本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②What's this? に対しては答えだけではなく、どのようなものか説明を加える。</p> |
| 7 | T&S 50 | <p>●3 ヒントクイズを出題したり、相手が出題するクイズに答えたりする。</p> <p>①3 ヒントクイズに答えるために、必要な情報を聞いて答えを表す写真を選ぶ (Step 1)。</p> <p>②クラスメートに3 ヒントクイズを出すために、Step 1 を参考にヒントの原稿を書く (Step 2)。</p> <p>③ペアやグループで、Step 2 で作成した3 ヒントクイズを出題したり、相手が出題するクイズに答えたりする (Step 3)。</p> | <p>・be 動詞を用いた文で表現できる内容を確認するとよい (Word Box 17,22,23 参照)。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・タブレット端末に身近な人物または有名人の写真を提示し、その人物を be 動詞の文を用いて Show & Tell 形式で紹介する。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・be 動詞 is を用いた文の理解を基に、初見の文章を読み必要な情報を引き出す。</p> <p>・be 動詞 is を用いた文の理解を基に、ある第三者について出身や所属、得意なことなどについて正確に書く。</p> | <p>・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマを示して置き、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p> |

Book 1 Let's Talk ① ショッピングモールで p. 51 指導計画

(KE: Key Expressions)

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|---|
| 1 | 51 | <p>● 買い物の場面で、簡単な語句や文を用いて必要なことを伝えたり値段を尋ねたりする。</p> <p>①モデル会話を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句や KE の重要表現、買い物の場面での特有の表現を確認する。</p> <p>③モデル会話の概要を確認した後、音読練習を行う。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。値段の尋ね方や言い方に注意しながら話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。</p> <p>⑥Step 3 をペアで行う。Tool Box の表現を参考にしてスキットを作って演じる。</p> | <p>・買い物の簡単なやり取りは小学校で慣れ親しんできている。</p> <p>・教科書に提示されている表現以外にも、買い物の場面での特有の表現を提示することもできる。</p> <p>・各ペアのスキットはタブレット端末で記録させ、各種評価等に活用する。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・買い物の場面を設定し ALT(教師)とやり取りするスピーキングテストにおいて、値段やサイズ、色なども含めて一連のやり取りを行う。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・値段を尋ねたり答えたりする表現の理解を基に、買い物の場面での会話を読む。</p> | <p>・パフォーマンステストは録画して、各種評価等に活用する。</p> |

Book 1 Project ① 自己紹介をしよう pp. 52-53 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-------|---|--|
| 1 | 52-53 | <p>●新しい ALT の先生への Ren の自己紹介のスピーチを聞いて、その概要を捉える。また自分が紹介したい内容を考える。</p> <p>①新出語句を確認する。</p> <p>②Step 1 の Ren の自己紹介を聞いて、その概要を捉え、聞き取れたことを記入する。</p> <p>③それぞれが聞き取ったことをクラス全体で共有し、内容や表現を確認する。</p> <p>④Tool Box の表現や文を確認し、自分が自己紹介で伝えたい事柄を表にまとめる (Step 2)。</p> | <p>③Ren の自己紹介スピーチのスキットを提示してもよい。また、その音読をすることも考えられる。</p> <p>・Tool Box の活用の仕方は生徒の実態に応じて変えることができる。</p> |
| 2 | 52-53 | <p>●前時に作成した表をもとに、互いにスピーチの仕方や内容についてアドバイスをし合い、簡単な語句や文を用いてまとまりのある自己紹介のスピーチを行う。</p> <p>①ペアやグループで、前時に作成した表をもとに自己紹介のスピーチを行い、それぞれに対して、スピーチが更によくなるように、内容や話し方についてアドバイスをし合う。</p> <p>②他のメンバーからもらったアドバイスを参考にして、Step 2 の表に書き加えたり、訂正したり、紹介する順番を変えたりして整理を行う。</p> <p>③改善した表をもとに、再度自己紹介のスピーチを行う。</p> <p>④一連の活動を振り返り、良かった点や今後の努力点を明らかにする。</p> | <p>・タブレット端末を活用し、①③でのスピーチを録画させ、②の改善、④の振り返りの段階で視聴させる。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・自分自身のことについて伝える事柄や順番を工夫するなど事実を整理し、簡単な語句や文を用いて発表する。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・読み手に理解してもらえよう、自分自身のことについて事実を整理し、簡単な語句や文を用いて自己紹介文を書く。</p> | <p>・パフォーマンステストは録画し、様々な評価等に活用する。</p> |

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|--|
| 1 | 54 | <p>●新任の ALT の先生のビデオメッセージから必要な情報を聞き取り, クラスメートに伝える。</p> <p>①イラストを見て, ALT の先生がどんなものに興味があるのかを考えてペアやグループで話し合う (BL)。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Step 1 の話を聞き, ALT の先生の出身地や好きななどを聞き取る。</p> <p>④Step 2 の追加の話を聞き, ALT の先生からの課題を日本語でメモする。</p> <p>⑤新任の ALT の先生のビデオメッセージを視聴していないクラスメートに, 先生から出された課題を英語で伝える (Step 3)。</p> | <p>・Step 3 の活動の前に, 必要に応じて, p.132 のスクリプトで内容の確認をしたり音読をしたりすることもできる。</p> |
| 後日 | | <p>リスニングテスト</p> <p>①ビデオメッセージを聞いて, 必要な情報を聞き取る。</p> <p>②聞き取った内容を, そのビデオメッセージを視聴しなかったクラスメートに話して (書いて) 伝える。</p> | <p>・②を「聞くこと」として実施する場合には, ひな形を与えるなど配慮が必要。または統合型の活動として位置づける。</p> |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|---|--|
| 1 | とびら 55 Part 1 56-57 | <p>●ハワイについての説明を聞き、興味を持つ。</p> <p>①ハワイについての説明を聞き、情報を得たり互いに知っている情報を共有したりする。</p> <p>●ハワイ在住の James と Hina たちのビデオ通話から必要な情報を捉え、Where で始まる疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 13 を使って、Where で始まる疑問文を構造的に理解する。</p> | |
| 2 | Part 1 56-57 | <p>●Where で始まる疑問文を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、普段どこで何をするか尋ね合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたこととその答えを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、ペアで、例にならって週末によく行くところと、そこですることを尋ね合う。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | ①場所を示す前置詞について確認する。 |
| 3 | Part 2 58-59 | <p>●ハワイ在住の James と Hina たちのビデオ通話から必要な情報を捉え、What time で始まる疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 14 を使って、What time で始まる疑問文を構造的に理解する。</p> | <p>・本文中の様々な it について確認する。</p> <p>・つながって聞こえにくくなる音に注意 (What time ~)</p> |
| 4 | Part 2 58-59 | <p>●What time で始まる疑問文を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、普段何時に何をするか尋ね合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたこととその答えを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、例にならって毎日の生活について発表する。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②Word Box18,19 の習慣や日常的に行うことは使用頻度が高いので、しっかりと確認したい。</p> <p>・Tool Box の「いつ」を表す表現は使えるようにしたい。</p> |
| 5 | Part 3 60-61 | <p>●ハワイ在住の James と Hina たちのビデオ通話から必要な情報を捉え、When で始まる疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 15 を使って、When で始まる疑問文を構造的に理解する。</p> | ・月の言い方を確認する (Word Box 2 参照)。 |
| 6 | Part 3 60-61 | <p>●When で始まる疑問文を用いて、即興で伝え合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、祝日や記念日の日付を尋ね合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたこととその答えを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動で、ペアで例にならって、どんなことをいつするか尋ね合う。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②Word Box 2 ~ 4 を用いて月の名前、季節 / 行事、曜日 / 日付などを確認する。</p> <p>・Express Yourself では前置詞の使い方を意識させたい。</p> |
| 7 | T&S 62 | <p>●理想の学校生活について知るために、場所や時刻、時期などについて質問し合う。</p> <p>①Hina と Jin の理想の学校生活についての会話を聞き、必要な情報を捉える (Step 1)。</p> <p>②Step 1 を参考に、自分の理想の学校生活を考え、表にメモする (Step 2)。</p> <p>③ペアやグループで、Step 2 でメモしたことをもとに、互いの理想とする学校生活について尋ね合い、相手の答えをメモする (Step 3)。</p> | ・生徒にとって楽しい内容のやり取りであるが、前置詞を適切に使用してやり取りさせる。 |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・ALT または教師と面接形式での Q&A を行う (1~2 分程度)。Q は本ユニットで扱う言語材料を用いたもので、生徒は 1 文以上の補足説明を付けて答えるように努める。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・Where, What time, When などでは始まる疑問文を用いた、身近な話題に関する会話を聞いて必要な情報を聞き取る (Listening)。</p> | ・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき、そのうち任意の 1 つを学期に一度実施する。 |

Book 1 Let's Talk ② 校舎の案内 p. 63 指導計画

(KE: Key Expressions)

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|---|
| 1 | 63 | <p>● 校舎内である場所への行き方を尋ねられた場合に, 簡単な語句や文を用いて的確に行き方を伝える。</p> <p>①モデル会話を聞き, 概要を捉える。</p> <p>②新出語句や KE の重要表現を確認する。</p> <p>③モデル会話の概要を確認した後, 音読練習を行う。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。必要な情報が的確に伝わるように, 丁寧にはっきりと話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。</p> <p>⑥Step 3 をペアで行う。Tool Box や Word Box 12 の表現を参考にしてスキットを作って演じる。</p> | <p>・道案内は小学校で慣れ親しんできていることを踏まえ, 活用を図る。</p> <p>・各ペアのスキットはタブレット端末で記録させ, 各種評価等に活用する。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・置かれた場面や目的に応じて, 道案内や校舎案内を行う基本的な表現を用いて, 即興で相手に案内をする。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・校舎内のある場所への行き方を説明する内容の会話から必要な情報を読み取る。</p> | <p>・パフォーマンステストは録画して, 各種評価等に活用する。</p> |

Book 1 Focus on Form ④ 疑問詞(2) where / what time / when p. 64 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|--|
| 1 | 64 | <p>●Where, What time, When で始まる疑問文の構造を理解し, 場面や目的に応じてそれらを適切に用い, 伝え合う。</p> <p>①Where, What time, When で始まる疑問文についての理解度を, Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②ペアで, 放課後の過ごし方について尋ね合う。</p> | <p>・疑問詞で始まる疑問文は文末が下がり調子になることを確認する。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・Where, What time, When で始まる疑問文を特定の場面や状況において適切に使用する。</p> | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|---|---|
| 1 | とびら 65 Part 1 66-67 | <p>●和菓子についての説明を聞き、日本の文化としての和菓子に興味を持つ。</p> <p>①和菓子についての説明を聞き、自分の好きな和菓子について紹介し合う。</p> <p>●Hina の紹介から必要な情報を捉え、3人称単数現在形を含む文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 16 を使って、3人称単数現在形を含む文を構造的に理解する。</p> | <p>・Enjoy Chatting を行い、好きな菓子について情報共有する。</p> <p>③p.75「一般動詞の3人称単数現在形の発音とつづり」参照。</p> |
| 2 | Part 1 66-67 | <p>●3人称単数現在形の文を用いて、身近な人物について紹介したり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに身近な人物について紹介し合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、インタビューしてわかったことを他の人に紹介する。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②タブレット端末を活用して写真やイラストを提示する。</p> <p>④ペアの相手に質問する際に、話題が拡散しないように指示する。</p> |
| 3 | Part 2 68-69 | <p>●Hina と Jin のやり取りから必要な情報を捉え、3人称単数現在形の疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 17 を使って、3人称単数現在形の疑問文を構造的に理解する。</p> | <p>・インターネット上の創作和菓子の画像等を提示し、興味を喚起する。</p> |
| 4 | Part 2 68-69 | <p>●3人称単数現在形の疑問文を用いて、身近な人物について尋ね合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに身近な人物について尋ね合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、ペアで、友達や家族などの身近な人物の写真を見せながら紹介し合う。聞いた人は、より詳しく知りたいこと尋ねる。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>④タブレット端末で写真を提示させる。</p> |
| 5 | Part 3 70-71 | <p>●Hina のおばについての Hina と Kiri のやり取りから必要な情報を捉え、3人称単数現在形の否定文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 18 を使って、3人称単数現在形の否定文を構造的に理解する。</p> | <p>・インターネット上の和菓子を紹介する英語版サイトを紹介する。必要に応じてリライトする。</p> |
| 6 | Part 3 70-71 | <p>●3人称単数現在形の否定文を用いて、憧れの人物について紹介したり書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに憧れの人物について紹介し合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、インタビューしてわかったことを他人に紹介する。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>④3人称単数現在形の否定文を含めるために、Yes/No Question を使用させる。</p> |
| 7 | T&W 72 | <p>●身近な人物について他者に知ってもらうために、メモをもとにスピーチ原稿を作成し、ペアやグループで発表する。</p> <p>①Kiri が弟の Dan について話しているのを聞き、必要な情報を捉える (Step 1)。</p> <p>②Step 1 を参考に、自分が紹介したい人についてメモを作成する (Step 2)。</p> <p>③Step 2 で作ったメモを基にスピーチ原稿を書き、ペアやグループで発表する (Step 3)。</p> | <p>・Show & Tell の形式で発表させてもよい。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・身近な人物や自分の好きな有名人について1分程度で紹介する。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・3人称単数現在形の文の理解を基に、初見の文章を読み必要な情報を引き出す。</p> | <p>・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p> |

Book 1 Let's Talk ③ だれのもの? p. 73 指導計画

(KE: Key Expressions)

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|---|
| 1 | 73 | <p>● 提示された場面で、簡単な語句や文を用いて、持ち主を尋ねたり、応答したりする。</p> <p>①モデル会話を聞き、概要を捉える。</p> <p>②新出語句や KE の重要表現を確認する。</p> <p>③モデル会話の概要を確認した後、音読練習を行う。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。尋ねられている持ち主を説明する部分を強調して発話するようにする。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。</p> <p>⑥ペアで Step 3 の活動を行う。Tool Box や p.143 の Word Box 15 等の表現を参考にしてスキットを作って演じる。</p> | <p>・ Tool Box の[持ち主の言い方]や p.125 の Focus on Form 12 の「代名詞のまとめ」を参照し、様々な所有代名詞を確認する。</p> <p>・ 各ペアのスキットはタブレット端末で記録させ、各種評価等に活用する。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・ 持ち主を明らかにするために、疑問詞 whose で始まる疑問文や所有代名詞を用いて、即興で尋ねたり答えたりする。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・ 持ち主を尋ねたり答えたりする表現を理解し、知識・技能として用いる。</p> | <p>・ パフォーマンステストは録画して、各種評価等に活用する。</p> |

Book 1 Focus on Form ⑤ 主語が 3 人称のときの表現 pp. 74-75 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-------|---|--|
| 1 | 74-75 | <p>● 3 人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文の文の構造を理解し、場面や目的に応じてそれらを適切に用い、伝え合う。</p> <p>①「人称」について 1～3 人称を区別して確認する。</p> <p>②be 動詞及び一般動詞の 3 人称単数現在形についての理解度を、Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>③一般動詞の 3 人称単数現在形のつづりと発音を確認する。</p> <p>④自分の家族や友達を紹介する文章を書く (Your Turn)。</p> | <p>②これまで学習した 3 人称単数現在形以外の文と比較して扱う。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・ 3 人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文を特定の場面で適切に使用する。</p> <p>・ 3 人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文の表現が含まれる会話を読み、その内容から必要な情報を読み取る。</p> | |

Book 1 Focus on Form ⑥ 疑問詞(3) what + be 動詞 / who / whose p. 75 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|---|
| 1 | 75 | <p>● What + be 動詞, Who, Whose で始まる疑問文の文の構造を理解し、場面や目的に応じてそれらを適切に用い、伝え合う。</p> <p>①What + be 動詞, Who, Whose で始まる疑問文についての理解度を、Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②互いに相手の好きなものや人物について尋ね合う。</p> | <p>・ 疑問詞で始まる疑問文は文末が下がり調子になることを確認する。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・ What + be 動詞, Who, Whose で始まる疑問文を特定の場面で適切に使用する。</p> | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|--|---|
| 1 | とびら 77 Part 1 78-79 | <p>●Kiri の日本の運動会についての話を聞いて、日本の学校の運動会に興味を持つ。</p> <p>①Kiri が日本の運動会について話をしているのを聞き、情報を得たり、自分の学校の運動会の種目について情報共有したりする。</p> <p>●ニュージーランドにいる友達の Ella と Kiri の電話での会話から必要な情報を捉え、現在進行形の肯定文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 19 を使って、現在進行形の肯定文を構造的に理解する。</p> | <p>・本ユニットの学習を通して、日本の学校生活の特色について着目させたい。</p> <p>・音の強弱とつながって聞こえにくくなる音に注意 (Good timing.)。</p> |
| 2 | Part 1 78-79 | <p>●現在進行形の肯定文を用いて、身近な人物について紹介したり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、絵の人物が何をしているか紹介し合う。相手を替え、できるだけ多くの相手とやり取りを行う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、電話で自分が今していることを伝え、相手を誘ってみる。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>④電話での会話は p.121 の Let's Talk</p> <p>⑤でも再度扱う。</p> |
| 3 | Part 2 80-81 | <p>●Kiri と Ella のビデオ通話から必要な情報を捉え、現在進行形の疑問文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 20 を使って、現在進行形の疑問文を構造的に理解する。</p> | |
| 4 | Part 2 80-81 | <p>●現在進行形の疑問文を用いて、写真の人物について尋ね合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに用意した写真の人物について尋ね合う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、ペアで例にならって、ジェスチャーでクイズを出し合う。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>②タブレット端末を用いて写真を提示させる。</p> |
| 5 | Part 3 82-83 | <p>●Ella のクラスでの日本の Sports Day についての発表から必要な情報を捉え、<look+形容詞>、<look like+名詞>を用いた文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 21 を使って、<look+形容詞>や<Look like+名詞>を用いた文を構造的に理解する。</p> | <p>③ look の他、sound, taste など同じ文構造をとる動詞を例文とともに提示する。</p> |
| 6 | Part 3 82-83 | <p>●<look/feel/taste/sound+形容詞>を含んだ文を用いて、互いに用意した写真の人物について尋ね合ったり正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動をペアで行い、互いに相手の見た目の様子と事実について伝え合う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動で、絵の人物の気持ちを想像し、自分の意見も加えて伝え合う。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | |
| 7 | T&W 84 | <p>●ホームページで自校の学校行事について紹介するために、学校行事の紹介記事を書く。</p> <p>①姉妹校のホームページに掲載されている記事を読み、その概要を捉える (Step 1)。</p> <p>②Step 1 を参考に、自分が紹介したい学校行事についてメモを作成する (Step 2)。</p> <p>③Step 2 でメモしたことをもとに学校行事の紹介記事を書く (Step 3)。</p> | |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・タブレット端末にて画像または動画を提示しながら、今していることについて簡単な語句や文を用いて伝えたり、ALT または教師からの質問に答える。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・今していることを説明するために、現在進行形の文を用いて短い文章を書く。</p> | <p>・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p> |

Book 1 Let's Write ① 日本の学校生活を紹介するメールを書こう p. 85 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|--|
| 1 | 85 | <p>●海外の姉妹校の生徒に対して、自分たちの学校生活を紹介するメールを書く。</p> <p>①どのような場面かを確認した上で、Sho が書いた返信メールを読み、何について紹介しているか理解する (Step 1)。</p> <p>②新出語句やメール (手紙) での特有の表現 (Tool Box 参照) を確認する。</p> <p>③自分は学校生活の何について紹介するかを考え、表にメモをする (Step 2)。</p> <p>④Step 2 のメモをもとに、メールを書く (入力する)。また、ペアでお互いのメールを読み、気付いたことを伝え合い、内容や表現を改善する (Step 3)。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 日本の学校生活の特徴に着目する機会とする。 メールや手紙で用いる特有の表現の確認をする。 各生徒の書いた紹介メールをタブレット等で提示し、「読むこと」の活動とすることもできる。 |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面や目的を明確にした上で、海外の友達から来たメールに対して、返信メールを書く。 | |

Book 1 Focus on Form ⑦ 現在進行形 / 「～に見える / 聞こえる」の表現 p. 86 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|---|
| 1 | 86 | <p>●現在進行形、及び<look/sound+形容詞>, <look/sound + like+名詞>の表現の文の構造を理解し、場面や目的に応じて適切に使い、伝え合う。</p> <p>①現在進行形、及び「～に見える (聞こえる)」の表現の文についての理解度を Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②動詞の-ing 形をつづりを確認する。</p> <p>③「形容詞」について確認した上で、look と look like の区別を確認する。</p> <p>④海外の行事やイベントについて、タブレット端末の動画を使って相手に紹介する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 現在進行形と現在形の意味の違いを確認する。 |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在進行形、及び「～に見える (聞こえる)」の表現の文を特定の場面で適切に使用する。 | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|------------------------------|---|---|
| 1 | とびら 87 Part 1 88-89 | ●ロンドンについての説明を聞いて、ロンドンに興味を持つ。 ①ロンドンについての説明を聞き、情報を得たり、知っていることを共有したりする。 ●Jin と Tom のビデオ通話から必要な情報を捉え、動名詞を用いた文について理解する。 ①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。 ②新出語句を確認する。 ③Target 22 を使って、動名詞を用いた文を構造的に理解する。 | ・基本的な感嘆文については本文の中で扱う。言い方のほか、構造についても説明を加える。 |
| 2 | Part 1 88-89 | ●動名詞を使って、あることが好きか尋ね合ったり、尋ねたことを正確に書いたりする。 ①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。 ②Speak の活動をペアで行い、あることが好きか尋ね合う。 ③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたことを正確に書く。 ④Express Yourself の活動を行い、ペアやグループで、自分の趣味や好きなことについて、例にならって伝え合う。 ⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。 | ④動名詞を主語として用いる場合も例文とともに確認する。 |
| 3 | Part 2 90-91 | ●Tom と Sho, Hina のやり取りから必要な情報を捉え、「～すること」を意味する to 不定詞を用いた文について理解する。 ①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。 ②新出語句を確認する。 ③Target 23 を使って、to 不定詞(名詞的用法)を用いた文を構造的に理解する。 | ・これまで決まった言い方として扱ってきた want to ~について構造的に理解させる。 |
| 4 | Part 2 90-91 | ●「～すること」を意味する to 不定詞(名詞的用法)を用いた文を使って、週末にしたいことを尋ね合ったり、尋ねたことを正確に書いたりする。 ①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。 ②Speak の活動をペアで行い、今度の週末にしたいことを尋ね合う。 ③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたことを正確に書く。 ④Express Yourself の活動を行い、自分の将来の夢について話す。 ⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。 | ④将来の夢については職業だけでなく、行きたい場所やそこでやってみたいことなどについても可とする。 |
| 5 | Part 3 92-93 | ●Tom と Sho, Hina のやり取りから必要な情報を捉え、Which で始まる疑問文を理解する。 ①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。 ②新出語句を確認する。 ③Target 24 を使って、Which で始まる疑問文を構造的に理解する。 | ・本文中の these, they, it, one などの代名詞の使い方にも着目させる。 |
| 6 | Part 3 92-93 | ●Which で始まる疑問文を使って、週末にしたいことを尋ね合ったり、尋ねたことを正確に書いたりする。 ①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。 ②Speak の活動をペアで行い、ランチコースでのオーダーのやり取りを行う。 ③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたことを正確に書く。 ④Express Yourself の活動を行い、ペアでランチを食べに行くという状況で、何を食べて行くか相談して決める。 ⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。 | ④何を食べに行くかを相談させる際に、いくつかの場面設定をさせた上で活動させる(例: 30分程度しか時間がない)。 |
| 7 | T&S 94 | ●クラスメートの興味のある都道府県について知るために、ペアで互いに行きたいところやそこでしたいことなどについて尋ね合う。 ①Kiri と Sho がビデオ通話で交流した地域の中で行ってみたいところを尋ね合う会話を聞き、必要な情報を捉える (Step 1)。 ②行ってみたい都道府県と、行きたい場所、そこでしたいことを表にメモする (Step 2)。 ③ペアになり、Step 2 のメモをもとに行ってみたい都道府県と、どこに行き何をしたいかについて尋ね合う (Step 3)。 | ②タブレット端末を活用して情報を集めることも可とする。 |
| 後日 | | パフォーマンステスト ・自分の好きなことやしてみたいことについて Show & Tell の形式で発表する。また、発表に対する ALT または教師からの質問に答える。 ペーパーテスト ・動名詞や to 不定詞(名詞的用法)を用いた文の意味や働きの理解を基に、日常的な話題について書かれた文章から必要な情報を読み取る。 | ・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき、そのうち任意の 1 つを学期に一度実施する。 |

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|---|
| 1 | 95 | <p>● 買い物をする場面の会話から必要な情報を聞き取り、クラスメートに伝える。</p> <p>①絵を見て、自分ならどのようなリュック (backpack) を買いたいかをペアやグループで伝え合う (BL)。</p> <p>②新出語句や重要表現を確認する。</p> <p>③Step 1 の会話を聞き、Ryo が店員からすすめられたリュックの特徴を聞き取る。</p> <p>④Step 2 の会話を聞き、購入するリュックの値段やサービス品について聞き取る。</p> <p>⑤Ryo と同じリュックがほしくなった場合を想定し、ペアやグループでその特徴を英語で説明する (Step 3)。</p> | <p>・Step 3 の活動の前に、必要に応じて、p.132 のスクリプトで内容を確認したり音読をしたりすることもできる。</p> <p>・買い物の場面での特有の表現を確認する。</p> |
| 後日 | | <p>リスニングテスト</p> <p>・買い物の場面の会話を聞き、必要な情報を聞き取る。</p> | |

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-------|--|---|
| 1 | 96-97 | <p>●「好きな人や尊敬する人」というテーマでスピーチをするに当たって、Sho のスピーチからどのように構成を考えていけばいいかを理解する。</p> <p>①新出語句を確認する。</p> <p>②「私の大好きな人」というテーマの Sho のスピーチを聞いて、聞き取れたことを Step 1 の空欄に記入する。</p> <p>③Sho のスピーチのアイデアメモとスピーチ原稿を見比べ、Sho がどのように考えスピーチを構成したかを理解する。</p> <p>④Sho のアイデアメモを見ながら、再度 Sho のスピーチを聞く。</p> <p>⑤「好きな人や尊敬する人」というテーマで自分が紹介したい人について考える。</p> | |
| 2 | 96-97 | <p>●Sho のアイデアメモとスピーチ原稿を参考にして、自分の「好きな人や尊敬する人」についてアイデアメモを作成し、それを基にスピーチ原稿を書く。</p> <p>①Sho のアイデアメモとスピーチ原稿を参考にして、自分が紹介する人物についてアイデアメモを作成し、それを基にスピーチ原稿を書く。</p> <p>②ペアやグループで、①の原稿を基にスピーチを行う。そして、それぞれのスピーチに対して、より良いものとなるように、互いにアドバイスをし合う。</p> <p>③友達からのアドバイスを基にスピーチで紹介する事柄や組み立て、表現方法を改善してスピーチ原稿や話し方を改善する。</p> | <p>・互いに発表・アドバイスする活動に入る前に Step 3 の【評価の観点】を示し、この観点に沿って活動を進めるように指示する。</p> <p>・タブレット端末の有効活用についても指示する。</p> |
| 3 | 96-97 | <p>●前時の②③で修正した原稿を基にスピーチ発表を行う。</p> <p>①【評価の観点】について確認し、その後、「好きな人や尊敬する人」について、前時に修正した原稿を基に一人ひとりスピーチ発表を行う。</p> <p>②個々の発表に対しての感想を伝え合ったり、質問をし合ったりする (時間に応じて)。</p> <p>③【評価の観点】に沿って自分自身のスピーチの振り返りを行い、よくできた点や今後の努力点を明確にする。</p> | <p>・個々のスピーチ発表は録画し、評価等に活用する。</p> <p>・個々の生徒に対して教師からもコメントを提示したい。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・何らかのテーマで他者について事実を整理し、自分の思いなども含めて、簡単な語句や文を用いて発表する。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・読み手に理解してもらえるよう、他者について事実を整理し、自分の思いなども含めて、簡単な語句や文を用いて紹介文を書く。</p> | |

Book 1 Let's Read ① The Frogs and the Well p. 98 指導計画

(BR: Before Reading)

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|---|
| 1 | 98 | <p>●簡単な語句や文で書かれた物語から2匹のカエルの考え方の違いを読み取り、物語が伝えたいことを理解する。</p> <p>①BRを読み、この物語の登場人物や状況を理解する。</p> <p>②挿絵を見ながら本文を聞いて、分かった単語や表現をクラス全体で共有する。</p> <p>③新出語を確認する。</p> <p>④Step 1の課題に解答するために本文を読み、概要を捉える。その後、クラス全体でStep 1の解答とその理由を確認する。</p> <p>⑤Step 2の課題に解答するために本文を再度読み、2匹のカエルの性格について考える。その後、クラス全体でStep 2の解答とその理由を確認する。</p> <p>⑥Step 3 これまで読み取ったことから、この物語の示す教訓についてペアやグループで話し合い、クラスで共有する。</p> <p>⑦2匹のカエルのそれぞれの発話の意図を考えながら、本文の音読練習を行う。</p> | <p>・個々の文の細かな意味理解を避け、概要を捉えさせていくようにする。</p> <p>・ペアやグループでの協働的な学びを適宜取り入れていく。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・簡単な語句や文で書かれた英文を読み、その要約文の順序を並べ替える。</p> | |

Book 1 Focus on Form ⑧ 動名詞/to+動詞の原形 p. 99 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|--------------------------------|
| 1 | 99 | <p>●動名詞、及びto不定詞(名詞的用法)の文の構造を理解し、特定の場面や状況でそれらを適切に用い、伝え合う。</p> <p>①動名詞、及びto不定詞(名詞的用法)の文についての理解度を、Meaning & Use, Formの点から例文を用いて確認する。</p> <p>②「～すること」という意味を表すとき、前に来る動詞によって動名詞とto不定詞(名詞的用法)のどちらを使うかが決まることを確認する。</p> <p>③自分の趣味や好きなことについて書く。</p> | <p>・「動名詞」と「現在分詞」の違いを明確にする。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・動名詞、及びto不定詞(名詞的用法)の文を特定の場面や状況で適切に用いる。</p> | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-------------------------------------|--|--|
| 1 | とびら 101 Part 1 102- 103 | ●ニューヨークについての説明を聞いて、ニューヨークに興味を持つ。 ①ニューヨークについての説明を聞き、情報を得たり知っていることを共有したりする。 ●Hall 先生の話からその概要を捉え、一般動詞の過去形の肯定文について理解する。 ①Scene の本文を聞き、概要を捉える。 ②新出語句を確認する。 ③Target 25 を使って、一般動詞の過去形を用いた肯定文を構造的に理解する。 | ③p.111 Focus on Form 一般動詞の過去形を参照。 ・時や場所などを表す前置詞にも着目させたい。 |
| 2 | Part 1 102- 103 | ●一般動詞の過去形の肯定文を用いて、普段行っていることと過去のことを比較して伝え合ったり、尋ねたことを正確に書いたりする。 ①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。 ②Speak の活動を行い、普段行っていることと過去のことを比較して伝え合う。 ③Write の活動を行い、②Speak で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself の活動を行い、ペアでそれぞれ冬休みにしたことを伝え合う。 ⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。 | ④使用頻度の高い動詞は活動前に過去形を確認し、規則・不規則動詞の区別をさせる。 ・つながって聞こえなくなる音に注意 (I wen(t) to New York.) |
| 3 | Part 2 104- 105 | ●Hall 先生の冬休みの話について Hall 先生と Hina のやり取りからその概要を捉え、一般動詞の過去形を用いた疑問文や否定文について理解する。 ①Scene の本文を聞き、その概要を捉える。 ②新出語句を確認する。 ③Target 26 を使って、一般動詞の過去形を用いた疑問文や否定文を構造的に理解する。 | ・two years ago などの過去を表す言い方を確認する。 |
| 4 | Part 2 104- 105 | ●一般動詞の過去形を用いた疑問文や否定文を用いて、先週末に特定のことを行ったか尋ね合ったり、尋ねたことを正確に書いたりする。 ①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。 ②Speak の活動を行い、先週末に特定のことを行ったか尋ね合う。 ③Write の活動を行い、②Speak で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself の活動を行い、ペアで先週末にしたことについて尋ね合う。 ⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。 | ④先週末にしたことについてのやり取りの中で、補足説明で否定文も使うことを促す。 |
| 5 | Part 3 106- 107 | ●Hall 先生の冬休みの話について Hall 先生と Sho, Hina のやり取りからその概要を捉え、be 動詞の過去形を用いた文について理解する。 ①Scene の本文を聞き、その概要を捉える。 ②新出語句を確認する。 ③Target 27 を使って、be 動詞の過去形を用いた文を構造的に理解する。 | ③p.112 Focus on Form be 動詞の過去形を参照。 ・日本とアメリカの年末年始の過ごし方の違いを確認する。 |
| 6 | Part 3 106- 107 | ●be 動詞の過去形の文を用いて、先週の日曜日にしたことについて尋ね合ったり、やり取りしたことを正確に書いたりする。 ①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。 ②Speak の活動を行い、先週の日曜日にしたことについて尋ね合う。 ③Write の活動を行い、②Speak で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself の活動を行い、ペアで昨日したことを感想とともに伝え合う。 ⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。 | ④行ったことの事実を述べ、それに対する感想を伝えるという順序性の重要性を確認する。 |
| 7 | T&S 108 | ●自分の冬休みの思い出について他者に知ってもらうためにメモを作成し、それに基づいてペアやグループでまとまりのあるスピーチを発表する。 ①Sho の冬休みの思い出についてのスピーチを聞き、その概要を捉える (Step 1)。 ②①を参考に、冬休みの思い出についてスピーチするためのメモを作成する (Step 2)。 ③Step 2 のメモを基に、ペアやグループでまとまりのあるスピーチを行う (Step 3)。 | ・Tool Box の表現を確認する。 ・各生徒のスピーチをタブレット端末で記録し、評価等に活用する。 |
| 後日 | | パフォーマンステスト ・1分間チャット: "Best memory in elementary school" など過去のことを話題にして、ALT または教師と適切な応答をしながらコミュニケーションを継続させる。 ペーパーテスト ・自分が行った場所やそこでしたことを伝えるために事実を整理し、過去形の文を用いて短い文章を書く。 | ・パフォーマンステストについては、いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。 |

Book 1 Let's Talk ④ ファストフード店で p. 109 指導計画

(KE: Key Expressions)

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|---|
| 1 | 109 | <p>● 飲食店での店員の問いかけを理解したり, 簡単な語句や文を用いて注文したりする。</p> <p>①モデル会話を聞き, 概要を捉える。</p> <p>②新出語句や KE の重要表現を確認する。</p> <p>③モデル会話の概要を確認した後, 音読練習を行う。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。必要な情報が的確に伝わるように, 丁寧にはっきりと話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。</p> <p>⑥Step 3 をペアで行う。自分たちで注文するものを決め, 即興でスキットを作って演じる。</p> | <p>・ドリンクのサイズに関するやり取りなど, 他の表現を提示することもできる。</p> <p>・各ペアのスキットはタブレット端末で記録させ, 各種評価等に活用する。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・飲食店で, 店員の呼びかけに応じながら, 自分が希望するメニューを注文する。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・飲食店で注文する場面での店員と客の会話の概要を読み取る。</p> | <p>・パフォーマンステストは録画して, 各種評価等に活用する。</p> |

Book 1 Let's Write ② 日記を書こう p. 110 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|--|
| 1 | 110 | <p>●日記に, 事実や自分の考え, 感想などを整理して書く。</p> <p>①新出語句を確認する。</p> <p>②Kiri の 2 つの日記を読み, 読み取ったことを表にメモする (Step 1)。</p> <p>③2 つの日記の書き方の違いについて考え, 時系列で書く場合と 1 つのことについて詳細に書く場合のそれぞれの特徴を確認する (Step 1)。</p> <p>④Step 1 を参考に, 事実や感想・考えなどを整理してメモする (Step 2)。</p> <p>⑤Step 2 のメモを参考に, ある一日についてのまとまりのある日記を書く (Step 3)。</p> | <p>・感想や気持ちの表現は p.146 の Word Box を参照して確認する。</p> <p>・各生徒の書いた日記をタブレット等で提示し, 「読むこと」の活動とすることもできる。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・ある一日の日記を, 感想や気持ちも含めて書く。</p> | |

Book 1 Focus on Form ⑨ 動詞の過去形 pp. 111-112 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|---------|--|-----|
| 1 | 111-112 | <p>●一般動詞及び be 動詞の過去形を含む肯定文, 否定文, 疑問文の構造を理解し, 場面や目的に応じてそれらを適切に使い, 伝え合う。</p> <p>①一般動詞及び be 動詞の過去形を含む文の理解度を, Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②規則動詞, 及び不規則動詞の過去形をつづりと発音を確認する。</p> <p>③ペアで, 先週末したことについて, 感想とともに伝え合う。</p> | |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・一般動詞及び be 動詞の過去形を含む肯定文, 否定文, 疑問文の表現について理解し, 特定の場面や状況で適切に用いる。</p> | |

Book 1 Focus on Form ⑩ 疑問詞(4) which p. 112 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|-----|
| 1 | 112 | <p>●Which で始まる疑問文の文の構造を理解し, 場面や目的に応じてそれを適切に使い, 伝え合う。</p> <p>①Which で始まる疑問文についての理解度を, Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②ペアで, 身近なものについてどちらが好きか尋ね合う。</p> | |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・Which で始まる疑問文を特定の場面や状況において適切に使用する。</p> | |

| 時 | Part ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-------------------------------------|--|--|
| 1 | とびら 113 Part 1 114- 115 | <p>●プラスチックごみの問題についての説明を聞いて、その問題について興味を持つ。</p> <p>①プラスチックごみの問題についての説明を聞いて、情報を得たり、すでに知っている事柄について情報共有したりする。</p> <p>●Sho, Hina, Kiri の会話から必要な情報を捉え、接続詞 when を用いた文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 28 を使って、接続詞 when を用いた文を構造的に理解する。</p> | <p>・従属接続詞は使用頻度が非常に高く, when はその最初のものであることを踏まえ, 構造を確実に理解させる。</p> |
| 2 | Part 1 114- 115 | <p>●接続詞 when を使った文を用いて、時間があるときにすることについて尋ね合ったり、クラスメートの答えた内容を正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動を行い、時間があるときにすることについて尋ね合う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak でクラスメートが答えた内容を正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、過去の時点での自分または家族、友達について話す。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>・つながる音とつながって消える音に注意 (When I was in New Zealand, I wen(t) to a beach cleanup.)</p> |
| 3 | Part 2 116- 117 | <p>●海洋ごみについてのインターネット記事の紹介からその要点を捉え、過去進行形を用いた文について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、その要点を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 29 を使って、過去進行形を用いた文を構造的に理解する。</p> | <p>③過去進行形と現在進行形、過去進行形と過去の違いを確認する。</p> |
| 4 | Part 2 116- 117 | <p>●過去進行形を使った文を用いて、過去のある時点でしていたことについて尋ね合ったり、尋ねたこととその答えを正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動を行い、過去のある時点でしていたことについて尋ね合う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で尋ねたこととその答えを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動を行い、ペアで過去にいつどんなことをしていたか尋ね合う。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | |
| 5 | Part 3 118- 119 | <p>●Kiri の海洋ごみに関するクラスでの発表からその要点を捉え、S+V+O(人)+O(もの)の文の構造について理解する。</p> <p>①Scene の本文を聞き、必要な情報を捉える。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Target 30 を使い、S+V+O(人)+O(もの)の文の構造を理解する。</p> | <p>③どのような動詞がこの文構造をとるか確認する (p.125 Focus on Form⑫参照)。</p> |
| 6 | Part 3 118- 119 | <p>●S+V+O(人)+O(もの)の文を用いて、これまでにもったり見せてもらったりしたことについて伝え合ったり、伝えたことを正確に書いたりする。</p> <p>①Listen の活動を行い、答えを全体で確認する。</p> <p>②Speak の活動で、これまでにもったり見せてもらったりしたことについて伝え合う。</p> <p>③Write の活動を行い、②Speak で伝えたことを正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動で、印象に残ったプレゼントについて書く。</p> <p>⑤本文の音読活動や内容理解のための Q&A を行う。</p> | <p>・動詞の後に「もの(を)+to/for 人(に)」に言い換えることができ、動詞によって to と for を区別することを確認する (p.125 Focus on Form⑫参照)。</p> |
| 7 | T&S 120 | <p>●自分の大切なものについて他者に知ってもらうためにメモを作成し、それに基づいてペアやグループでまとまりのあるスピーチを発表する。</p> <p>①Jin と Beth のスピーチを聞き、その概要を捉える (Step 1)。</p> <p>②Step 1 を参考に、自分の大切なものについてのスピーチのメモを作成する (Step 2)。</p> <p>③Step 2 のメモを基に、ペアやグループでまとまりのあるスピーチを行う (Step 3)。</p> | <p>・各生徒のスピーチをタブレット端末で記録し、評価等に活用する。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・1分間チャット: "My treasure" など自分の持ち物を話題にして、ALT または教師と適切な応答をしながらコミュニケーションを継続させる。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・本ユニットで学んだ新出言語材料の意味や働きの理解を基に、過去のある時点での事実やそれに対する感想についての短い文章を書く。</p> | <p>・パフォーマンステストについては、いくつかのユニットで学習したテーマを示しておき、そのうち任意の1つを学期に一度実施する。</p> |

Book 1 Let's Talk ⑤ お願い p. 121 指導計画

(KE: Key Expressions)

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|---|
| 1 | 121 | <p>● 提示された状況において、簡単な語句や文を用いて相手に依頼したり許可を求めたりする。また、それに的確に応答したりする。</p> <p>①モデル会話を聞き、その概要を捉える。</p> <p>②新出語句や KE の重要表現を確認する。</p> <p>③モデル会話の概要を確認した後、音読練習を行う。</p> <p>④Step 1 をペアで練習する。相手に依頼したり許可を求めたりする部分と応答する部分に注意しながら話す。</p> <p>⑤Step 2 をペアで行う。</p> <p>⑥ペアで Step 3 の活動を行う。自分たちで場面や状況を設定し、そこで相手に依頼したり許可を求めたりするスキットを作って演じる。</p> | <p>・can を用いた依頼や許可を求める表現とその応答の表現について確認する。</p> <p>・電話での特有の表現についてもここで再度確認する。</p> <p>・各ペアのスキットはタブレット端末で記録させ、各種評価等に活用する。</p> |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <p>・置かれた場面や目的に合わせて、相手に依頼したり許可を求めたりする表現を用いて、即興で相手に尋ねたり答えたりする。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・相手に依頼したり許可を求めたり、それらに応じたりする場面の会話を読み、その概要を読み取る。</p> | <p>・パフォーマンステストは録画して、各種評価等に活用する。</p> |

Book 1 Let's Listen ③ 今日のニュース p. 122 指導計画

(BL: Before Listening)

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|---|--|
| 1 | 122 | <p>● アメリカでのテレビニュースから必要な情報を聞き取り、クラスメートに伝える。</p> <p>①イラストを見て、Ryo がどのような内容のニュースを見ているのかを予想し、ペアやグループで伝え合う (BL)。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③ニュースを聞いて、そのニュースのトピックや具体的な内容を聞き取る (Step 1)。</p> <p>④Step 2 のニュースキャスターとレポーターの会話を聞き、必要な情報を聞き取る。</p> <p>⑤Step 1 で聞いたニュースの内容を、まだ聞いていない友達に英語で説明する (Step 3)。</p> | <p>・Step 3 の活動の前に、必要に応じて、p.132 のスクリプトで内容の確認をしたり音読をしたりすることもできる。</p> |
| 後日 | | <p>リスニングテスト</p> <p>・生徒にとって比較的身近な話題のニュースを聞いて、その概要を聞き取る。</p> | |

Book 1 Focus on Form ⑪ when 節／過去進行形 p. 124 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|-----|
| 1 | 124 | <p>●接続詞 when や過去進行形を含む文の構造を理解し、場面や目的に応じてそれらを適切に用い、伝え合う。</p> <p>①接続詞 when や過去進行形を含む文についての理解度を、Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②ペアで、昨日の何時にどんなことをしていたかについて互いに尋ね合う。</p> | |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・接続詞 when や過去進行形を含む文を特定の場面や状況において適切に使用する。</p> | |

Book 1 Focus on Form ⑫ 「_に…を」の表現／代名詞のまとめ p. 125 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|-----|--|--|
| 1 | 125 | <p>●S+V+O(人)+O(もの)の文の構造を理解し、場面や目的に応じてそれを適切に用い、伝え合う。また、代名詞のそれぞれの格の使い方について確認し、適切に用いる。</p> <p>①S+V+O(人)+O(もの)の文についての理解度を、Meaning & Use, Form の点から例文を用いて確認する。</p> <p>②人称代名詞の形と格による使い方を確認する。</p> <p>③自分が誰かに何かをあげた経験や何かを作った経験などについて書く。</p> | <p>・「何に」「誰を」という語順の場合、動詞によって to と for の区別ができるようにする。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・「_に…を」の表現、及び人称代名詞を含む文を特定の場面や状況において適切に使用する。</p> | |

Book 1 Project ③ 先生に感謝の手紙を書こう pp. 126-127 指導計画

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|---------|---|---|
| 1 | 126-127 | <p>●お世話になった ALT の先生に、感謝の気持ちを伝える手紙を書くことになり、Shun が書いた手紙を読んで、どのような内容をどのような順番で書けばいいかを理解する。</p> <p>①新出語句を確認する。</p> <p>②Shun が書いた手紙を読んで、その内容を捉える (Step 1)。また、その中で手紙の形式について確認する。</p> <p>③Shun がどんな内容をどんな順番で書いているかについて確認する。</p> <p>④Shun が書いた手紙文の音読練習を行う。</p> | |
| 2 | 126-127 | <p>●前時で確認した、手紙を書く際の内容や順番に沿って自ら表現したいことを表にまとめ、それを基に手紙を書く。</p> <p>①前時で確認した、手紙を書く際の内容や順番に沿って自ら表現したいことを表にまとめる (Step 2)。</p> <p>②Step 2 の内容を基に、手紙を書く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書く際には、Tool Box や辞書を活用させる。 ・オリジナルの文を書くのが難しい生徒には Shun の手紙文を参考にさせる。 |
| 3 | 126-127 | <p>●書いた手紙をペアやグループで読み合い、互いにアドバイスをして、手紙の内容がよりよくなるように整理し修正する。</p> <p>①書いた手紙をペアやグループで読み合い、互いにアドバイスをして、手紙の内容がよりよくなるように整理する。</p> <p>②整理した内容を修正し、手紙を清書する。</p> <p>③一連の活動を振り返り、よくできた点や今後の努力点を明らかにする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なエピソードやそのことへの自分の思い、これからの抱負など、構成の仕方に留意させる。 ・できる限り ALT の先生から生徒への返事を書くように依頼したい。 |
| 後日 | | <p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定された状況下で手紙を書き、その手紙文を音読発表する。 <p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定された状況下で、簡単な語句や文を用いて手紙文を書く。 | |

| 時 | ページ | ねらい (●), 言語活動 (丸数字) | 留意点 |
|----|---------|--|---|
| 1 | 128-131 | <p>●物語の状況を把握し、推測も含め、物語の概要を捉える。</p> <p>①BRを読み、物語の3人の登場人物とそれぞれの特徴を理解した上で、物語のタイトル <i>Eeyore Has a Birthday and Gets Two Presents</i> からどのようなストーリーが展開されるか予想する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③挿絵を見ながら物語の全文を聞いて、Step 1の課題である、4枚の絵を物語の順番になるように並べる。そして、物語の大まかな流れをクラス全体で予想・確認する。</p> | <p>・BRの予備情報やタイトルから、どんなストーリーになりそうなのか挿絵も活用して予想させる。</p> |
| 2 | 128-129 | <p>●前時で確認した物語の大まかな流れを踏まえ、物語の前半部(pp.128-129)の概要を捉え、登場人物の気持ちや行動を考える。</p> <p>①挿絵を見ながら物語の前半部(pp.128-129)を聞いて、分かったことをクラス全体で共有する。</p> <p>②ペアやグループで活動しながら、物語の前半部分を読んでいき、物語の概要を捉える。</p> <p>③再度、物語の前半部(pp.128-129)を聞いて、その部分の概要をクラス全体で共有する。</p> <p>④物語の前半部(pp.128-129)の音読練習をする。</p> | <p>・個々の文の細かい意味理解を避け、概要を捉えさせていくようにする。</p> <p>・ペアやグループでの協働的な学びを適宜取り入れていく。</p> |
| 3 | 128-131 | <p>●前時の学習を踏まえ、物語の後半部(pp.130-131)の概要を捉え、登場人物の気持ちや行動を考える。</p> <p>①前時の復習を行い、物語の前半部分の概要を確認する。</p> <p>②挿絵を見ながら物語の後半部(pp.130-131)を聞いて、分かったことをクラス全体で共有する。</p> <p>③ペアやグループで活動しながら、物語の後半部分を読んでいき、物語の概要を捉える。</p> <p>④再度、物語の後半部(pp.130-131)を聞いて、その部分の概要をクラス全体で共有する。</p> <p>⑤Step 2の活動を行い、物語の要約文を完成させる。</p> <p>⑥ペアやグループで Pooh と Piglet の行動をどう思ったか話し合い、その後クラス全体で共有する。</p> <p>⑦物語の後半部(pp.130-131)の音読練習をする。</p> | <p>・個々の文の細かい意味理解を避け、概要を捉えさせていくようにする。</p> <p>・ペアやグループでの協働的な学びを適宜取り入れていく。</p> |
| 後日 | | <p>ペーパーテスト</p> <p>・簡単な語句や文で書かれた長めの文章を読んで、その概要を捉え要約文を順番通りに並べ替える。</p> | |